

御文庫講略年表

西暦	和暦	出来事
1723	享保8	大坂、京都、江戸の書肆により住吉御文庫建立の発願を行う。その後、大坂本屋仲間の有志が「住吉御文庫講」を結成し、書籍の奉納と蔵書の整理保管に当たる
1730	享保15	天満宮に「天満宮御文庫講」が結成され、同じく書籍の奉納、蔵書の整理保管が始まる
1751～64	宝暦年間	浪華書林御文庫講の結成
1802	享和2	住吉大社大火、社殿焼失するが住吉御文庫は罹災を免れる
1837	天保8	大塩平八郎の乱で天満宮御文庫の書籍の多くが焼失
1861	万延2	書林講という名称で初めて天神祭船渡御に参加
1873	明治7	大阪書籍商組合の設立、住吉御文庫講の再結成
1910	明治43	住吉御文庫講と天満宮御文庫講とが合併して大阪書林御文庫講となる
1926	昭和元	天満宮に文車を献納、講員が乗船
1933	昭和8	『住吉大社御文庫貴重図書目録』刊行
1944	昭和19	住吉大社「名家筆蹟石燈籠」石標、建立
1949	昭和24	天神祭船渡御再開
1994	平成6	関西空港開港記念に開催されたブリスベンでの陸渡御、船渡御に参加
1998	平成10	天満宮曝書再開
2001	平成13	この年より住吉御文庫の目録整理のため曝書を中断
2010	平成22	住吉御文庫、10年ぶりに曝書を再興
2018	平成30	住吉御文庫、国登録文化財に登録
2023	令和5	御文庫講創立300年記念行事開催